

平成24年3月31日

各位

株式会社 徳 ・ 株式会社傳六  
ノリックス株式会社・有限会社和公  
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。新卒の新入社員も入社し来年度の新卒採用の説明会等も始まりまさに春の到来を感じる毎日です。

さて、社内新聞にも書かせていただきましたが3月中旬に中国の杭州にある義烏というところに行かせていただきました。世界最大の卸売市場があり日本に輸入されている衣類や工業製品、生活雑貨などないものがないというくらい様々なものが販売されており（日本で購入する価格の1/20 くらいの価格です）そこで今回は視察ならびに仕入れの技術を学びに行きました。中国に限らず自社の核となりそうな商品は直接仕入れることで大きな利益を得ることが出来、またお客さまに安く商品を販売することが出来ます。利は元にありますといわれ仕入れが商品づくりの全てといってもいいかもしれません。新聞等に報道されていますが日本の大手電機メーカー各社が過去にない大きな赤字決算を迎えています。これは円高などの問題もあるでしょうが大きな原因として一言でいえば国際競争力がなくなったためにお客さまに選ばれなくなったからです。同等の性能の電化製品が韓国や中国のものだと2～3割安く販売されています。商品がいいのはあたりまえで肝心なのはそれがお客さまが買いたい価格になっているかということです。日本の経済を支えている大手企業でさえお客さまから認められなくなれば倒産する時代です。電化製品だけではなく私たち飲食業も今までのやり方やビジネスの考え方では立ちいかなくなる時代となってきています。モノがあまってお客様の選択肢も増え、節約志向の中でお客様に選んでいただけるお店となるのは並大抵のことではありません。私たちが他社との競争に勝ち抜くためにはいい商品を出来るだけ安く提供すること。お客様の困ったを解決すること。料理を召し上がっていただいて得をしたと感じていただくこと。食事を通じて感動していただくこと。自分たち自身をもっと楽に笑いながら仕事出来ること。私を含めたこの会社で働くスタッフ一人ひとりがこれらのことを常に考え取り組んでいくことが生き残る唯一の方法と考えます。

これから最もいい季節を迎えます。藤原定家の「花をのみ待つらむ人に山里の雪間の草の春をみせはや」という私の好きな和歌があります。爛漫の桜も春ですが小さなフキノトウの花や山里の溶けた雪の間から覗かせている若草を見て人は春を感じる事が出来ます。そんな小さなものにも大きくて深い喜びを感じる事が大切ということはこの和歌は教えてくれます。当り前のように明日があるというわけではないということ。昨年東日本大震災はそのことを強く私たちに教えてくれました。日々を新たにし、自分の役割をしっかりと果たしていきましょう。来月もこの会社で働く全てのスタッフの皆様が花開くような気持で毎日を過ごせますこと祈念いたします。

#### 【徳の経営理念】

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

#### 【徳のモットー】

「一膳入魂」～うまい料理は世の為、人の為～

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々